

三井住友・USボンドオ - プン(為替ヘッジ型) 愛称:たのしみ

追加型株式投資信託 / バランス型

基準価額および純資産総額

		前月比
基準価額(円)	8,147	-74
純資産総額(百万円)	181	-17

基準価額は10000口当たりの金額です。

騰落率(税引前分配金込)(%)

	基準日	ファンド
1ヶ月	H20.4.30	-0.9
3ヶ月	H20.2.29	-0.3
6ヶ月	H19.11.30	-2.0
1年	H19.5.31	-2.0
3年	H17.5.31	-3.7
設定来	H12.1.28	10.3

騰落率は、税引前分配金込基準価額を基に算出したものであり、実際の投資家利回りとは異なります。

税引前分配金込基準価額は、信託報酬控除後の基準価額に支払済み収益分配金(税引前)を加算して算出しています。

基準価額の推移(円)

ファンド設定日 H12.1.28



基準価額は、信託報酬(年率1.5435%(税抜き1.47%))控除後です。

上記グラフは過去の実績を示したものであり将来の成果をお約束するものではありません。

マザーファンド組入比率(%)

USボンドマザーファンド	95.4
--------------	------

為替ヘッジ比率(%)

98.8

為替予約の邦貨換算を外貨建資産の邦貨換算額で除して算出しています。

ポートフォリオ概況

平均格付	A
残存年数(年)	10.94
クーポン(%)	7.50
最終利回り(%)	6.32
修正デュレーション(年)	6.15
ハイイールド債組入比率(%)	20.1
外貨建資産組入比率(%)	94.4

現金等はAAA格としております。

債券残存構成(%)

1年未満	0.3
1-3年	2.8
3-5年	8.4
5-7年	38.6
7-10年	16.1
10年以上	27.5

ファンド純資産総額対比

最近の分配実績(税引前)(円)

期	決算日	分配金
第1~28期累計		2,380
第29期	H19.3.20	100
第30期	H19.6.20	100
第31期	H19.9.20	100
第32期	H19.12.20	100
第33期	H20.3.21	100
設定来累計		2,880

分配金は10000口当たりの金額です。
上記は過去の実績であり、将来の分配をお約束するものではありません。

資産構成(%)

国債	28.6
政府機関債等	0.0
社債	65.1
MBS・ABS等	0.0
現金等	6.2
合計	100.0

格付構成(%)

AAA格	34.9
AA格	4.7
A格	14.7
BBB格	25.6
BB格	5.7
B格	12.8
CCC格以下	1.6

現金等はAAA格としております。

投資信託は預金ではありません。投資信託は株式等値動きのある証券(外国証券には為替リスクもあります)に投資しますのでリスクを含む商品であり、運用実績は変動致します。従って、元本や利回りが保証されているものではありません。

当ファンドの取得のお申込みの取扱にあたっては、最新の投資信託説明書(交付目論見書)および契約締結前交付書面等をあらかじめあるいは同時にお渡し致しますので、必ず内容をご確認下さい。投資信託説明書(交付目論見書)は各販売会社までご請求下さい。

このレポートの最終ページにある「重大な注意事項」を必ずご覧下さい。



三井住友・USボンドオ - プン(為替ヘッジ型) 愛称:たのしみ

追加型株式投資信託 / バランス型

組入上位10銘柄							(組入銘柄数 153)
銘柄名	種別	格付	最終利回り(%)	残存年数(年)	クーポン(%)	組入比率(%)	
1 アメリカ国債	国債	AAA	3.7	6.7	11.25	28.6	
2 スプリント・キャピタル社債	社債	BBB-	9.0	20.5	6.875	2.5	
3 ベア・スターズ社債	社債	A+	5.9	4.2	6.95	2.5	
4 コムキャスト社債	社債	BBB+	6.9	29.2	6.95	2.2	
5 ワコビア銀行社債	社債	AA	7.3	29.6	6.6	1.9	
6 ジャピル・サーキット社債	社債	BB+	6.7	2.1	5.875	1.9	
7 CIT社債	社債	A-	10.3	4.5	7.625	1.8	
8 エンパーク社債	社債	BBB-	8.4	28.0	7.995	1.8	
9 アメリカン・ジェネラル・ファイナンス社債	社債	A+	7.7	9.5	6.9	1.7	
10 メタネックス社債	社債	BBB-	7.4	7.2	6	1.7	

格付は、Moody's社、S&P社による格付を基に当社が独自に調整したものを表示しており、両社の格付とは異なります。

ファンドマネージャーコメント

<運用成績>

2008年5月のUSボンドマザ - ファンド(当ファンド)の運用成績は-0.88%となり、リーマン・ブラザーズ・政府/クレジット・インデックス(以下「インデックス」)の-1.03%を上回りました(ドルベース)。

<市場環境と主な運用成果要因>

米国では、FRBの各種流動性供給策や金融機関の資本増強の動きにより信用収縮の動きが後退しており、さらには原油をはじめとしてコモディティ価格の上昇などを受けてインフレ懸念が台頭したため、長期金利は上昇しました。当月末の米国10年国債利回りは前月末より高水準の4.08%となりました。

景気や企業収益に対する慎重な見方は続いているものの、信用収縮の動きが緩和されたことを受け、投資適格社債、ハイイールド社債、ABS(資産担保証券)、MBS(モーゲージ担保証券)などのクレジット債券は概ね国債をアウトパフォームしました。

5月の当ファンドの運用成績はインデックスをアウトパフォームしました。社債をオーバーウェイトとした種別配分効果や銘柄選択効果等がプラス要因となりました。

<ポートフォリオのハイライト - セクター要因>

好調セクター: 衣料、紙、テレコム

不調セクター: エネルギー、天然ガス、メディア・ケーブル、エンターテインメント

<市場環境見通し>

サブプライムローン問題の実体経済波及により、個人消費や設備投資は低迷しています。また、住宅市場の低迷や金融機関の損失計上も続く見込みです。このような状況下でFRBによる低金利政策や流動性供給策の継続が予想されます。当面は長期金利が一進一退で推移する展開を見込んでいますが、金融・財政政策の効果や住宅市場の下げ止まりにより2008年後半以降には徐々に景気の回復感が出て来ると予想しており、長期金利は上昇する見込みです。

国債に対するクレジットスプレッド拡大リスクは残っていますが、景気は緩やかなペースながら回復に向かう見通しであり、企業のバランスシートは概ね健全さを保っています。一部のセクターを除いて企業収益の伸び率鈍化も限定的と考えられ、徐々に投資家需要の復活が見込まれます。また、割安と判断されるセクターや銘柄が増えており、クレジットスプレッドは緩やかなペースながら縮小すると予想します。

<運用戦略>

デュレーションはインデックス対比長めのポジションとしていますが、相場動向を見ながら機動的に方針を変更します。

また、引き続き社債市場を中心としたセクター配分および銘柄選択に注力し、割高と判断される銘柄から割安と判断される銘柄に随時入れ替えを行います。

投資信託は預金ではありません。投資信託は株式等値動きのある証券(外国証券には為替リスクもあります)に投資しますのでリスクを含む商品であり、運用実績は変動致します。従って、元本や利回りが保証されているものではありません。

当ファンドの取得のお申込みの取扱にあたっては、最新の投資信託説明書(交付目論見書)および契約締結前交付書面等をあらかじめあるいは同時にお渡し致しますので、必ず内容をご確認下さい。投資信託説明書(交付目論見書)は各販売会社までご請求下さい。

このレポートの最終ページにある「重大な注意事項」を必ずご覧下さい。



作成基準日: 平成20年5月30日

三井住友・USボンドオ - プン(為替ヘッジ型) 愛称:たのしみ

追加型株式投資信託 / バランス型

ファンドの特色

1. USボンドマザーファンド受益証券を主要投資対象とします。
2. 主としてUSボンドマザーファンド受益証券への投資を通じて、米国ドル建ての社債のほか、米国ドル建ての国債、地方債を含む政府機関債、転換社債、転換社債型新株予約権付社債、モーゲージ担保債務証券を含むモーゲージ証券、資産担保証券、米国1933年証券取引法規則144Aに定められる有価証券、その他の外国債(ヤンキー、ユーロ等)および短期金融商品等を主要投資対象として、インカム・ゲインの確保とともにキャピタル・ゲインの獲得を目指して運用を行います。
3. ポートフォリオの構築にあたっては、USボンドマザーファンドの組入れを高率とすることを基本とします。USボンドマザーファンドが投資する主要投資対象の加重平均格付けは、A-またはA3格以上を維持することを基本とします。格付けについては、スタンダード・アンド・プアーズまたはムーディーズ・インベスターズ・サービス・インクの付与した高いほうの格付けを採用します。なお、投資する公社債等につきましては、上記両者のうち少なくとも1社の格付けを取得しているものに限定します。
4. 実質組入外貨建資産に対して、原則として為替ヘッジを活用し、為替変動リスクの低減を図ります。
5. 運用にあたっては、運用委託契約に基づきルーミス・セレイス・アンド・カンパニー・エル・ピーに外貨建資産についての運用指図に関する権限を委託します。

リスクと留意点

当ファンドが有するリスク等(当ファンドが主要投資対象とするマザーファンドへの投資を通じて間接的に受ける実質的なリスク等を含みます。)のうち主要なものは、以下の通りです。詳しくは投資信託説明書(交付目論見書)をご覧ください。

・債券市場リスク

内外の政治、経済、社会情勢等の影響により債券相場が下落(金利が上昇)した場合、ファンドの基準価額が下落する要因となります。また、ファンドが保有する個々の債券については、下記「信用リスク」を負うことにもなります。

・為替変動リスク

外貨建資産への投資は、邦貨建資産に投資する場合の通常のリスクのほかに、為替変動による影響を受けます。ファンドが保有する外貨建資産の価格が現地通貨ベースで上昇する場合であっても、当該現地通貨が対円で下落(円高)する場合、円ベースでの評価額は下落することがあります。為替の変動(円高)は、当ファンドの基準価額が下落する要因となります。

・信用リスク

ファンドが投資している有価証券や金融商品に債務不履行が発生あるいは懸念される場合に、当該有価証券や金融商品の価格が下がったり、投資資金を回収できなくなったりすることがあります。これらはファンドの基準価額が下落する要因となります。

・市場流動性リスク

大口の解約請求があった場合、解約資金を手当てするために保有資産を大量に売却しなければならないことがあります。その際、市場動向や取引量等の状況によっては、取引が出来なかったり、通常よりも著しく不利な価格での取引を余儀なくされたりすることがあり、ファンドの基準価額が下落する要因となります。

・ファミリーファンド方式にかかる留意点

当ファンドは「ファミリーファンド方式」により運用するため、当ファンドが投資対象とするマザーファンドを同じく投資対象とする他のベビーファンドに追加設定・一部解約により資金の流出入が生じた場合、その結果として、当該マザーファンドにおいても組入有価証券の売買等が生じ、当ファンドの基準価額に影響を及ぼすことがあります。

投資信託は預金ではありません。投資信託は株式等値動きのある証券(外国証券には為替リスクもあります)に投資しますのでリスクを含む商品であり、運用実績は変動致します。従って、元本や利回りが保証されているものではありません。

当ファンドの取得のお申込みの取扱にあたっては、最新の投資信託説明書(交付目論見書)および契約締結前交付書面等をあらかじめあるいは同時にお渡し致しますので、必ず内容をご確認下さい。投資信託説明書(交付目論見書)は各販売会社までご請求下さい。

このレポートの最終ページにある「重大な注意事項」を必ずご覧下さい。



作成基準日:平成20年5月30日

三井住友・USボンドオ - プン(為替ヘッジ型) 愛称:たのしみ

追加型株式投資信託 / バランス型

お申込みメモ お申込みの際は、必ず最新の投資信託説明書(交付目論見書)をご覧ください。

お申込時期	-	お申込不可日を除き、原則として、いつでもお申込みできます。
お申込単位	-	お申込単位の詳細は、お取扱いの販売会社または委託会社にお問い合わせください。
お申込価額	-	取得申込日の翌営業日の基準価額となります。
お申込手数料	-	お申込金額(取得申込日の翌営業日の基準価額×お申込口数)に2.1%(税抜き2.0%)を上限として、販売会社または委託会社がそれぞれ別に定める手数料率を乗じて得た額となります。
ご換金時期	-	お申込不可日を除き、原則として、いつでもご換金できます。 解約金の支払いは、原則として解約請求日から起算して5業日目以降となります。
ご換金価額	-	解約価額は、解約請求日の翌営業日の基準価額となります。
信託期間	-	無期限です。(設定日 平成12月1月28日)
決算および収益分配	-	年4回(原則として毎年3月、6月、9月、12月の20日。休業日の場合は翌営業日)決算を行い、収益分配方針に基づき分配を行います。ただし分配を行わない場合もあります。
信託報酬	-	純資産総額に対して年1.5435%(税抜き1.47%)
お申込不可日	-	ニューヨーク証券取引所あるいはニューヨークの銀行の休業日の場合には、お買付け、ご換金のお申込みはできません。
課税関係	-	収益分配時の普通分配金ならびに解約時・償還時の個別元本超過額について課税されます。詳しくは最新の投資信託説明書(交付目論見書)をご覧ください。
信託事務等の諸費用	-	信託財産中から支弁します。詳しくは最新の投資信託説明書(交付目論見書)をご覧ください。

当ファンドに係る手数料等について

投資信託は、ご購入・ご換金時に直接ご負担いただく費用と信託財産から間接的にご負担いただく費用の合計額がかかります。詳しくは最新の投資信託説明書(交付目論見書)を必ずご覧ください。

申込手数料

原則として、お申込金額(取得申込日の翌営業日の基準価額×お申込口数)に2.1%(税抜き2.0%)を上限として、販売会社がそれぞれ別に定める申込手数料率を乗じて得た額となります。

詳しくは販売会社にてご確認ください。

換金(解約)手数料

当ファンドには換金(解約)手数料はありません。

信託報酬(ファンドより間接的にご負担いただきます。)

当ファンドの純資産総額に年1.5435%(税抜き1.47%)の率を乗じて得た額とします。

信託財産留保額

ありません。

監査費用(ファンドより間接的にご負担いただきます。)

当ファンドの純資産総額に年0.0042%(税抜き0.004%)の率を乗じて得た額とします。

ただし、年630,000円(税抜き600,000円)を上限とします。

監査費用は見直しにより変更となることがあります。

その他の費用(ファンドより実費として間接的にご負担いただきます。)

・有価証券売買時の売買委託手数料、デリバティブ取引等に要する費用
・資産を外国で保管する場合の費用 等

(「その他の費用」については、運用状況等により変動するものであり、その上限額等を事前に記載できません。)

手数料等の合計額は、ご投資家の保有期間に応じて異なる等の理由により具体的に記載できません。

委託会社・その他の関係法人

委託会社 三井住友アセットマネジメント株式会社 金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第399号
社団法人投資信託協会会員、社団法人日本証券投資顧問業協会会員
(照会先)フリーダイヤル:0120-88-2976 営業日の9:00~17:00(半休日の場合は9:00~12:00)
(インターネットホームページ)http://www.smam-jp.com

信託財産の運用指図、投資信託説明書(目論見書)および運用報告書の作成等を行います。

受託会社 住友信託銀行株式会社(再信託受託会社 日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社)

信託財産の保管・管理・計算等を行います。なお、信託事務の一部につき、日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社に委託することがあります。

販売会社 当ファンドの募集・販売の取扱い、投資信託説明書(交付目論見書)の提供、受益者からの一部解約実行請求の受付、受益者への収益分配金、一部解約金および償還金の支払事務等を行います。

投資信託は預金ではありません。投資信託は株式等値動きのある証券(外国証券には為替リスクもあります)に投資しますのでリスクを含む商品であり、運用実績は変動致します。従って、元本や利回りが保証されているものではありません。

当ファンドの取得のお申込みの取扱いにあたっては、最新の投資信託説明書(交付目論見書)および契約締結前交付書面等をあらかじめあるいは同時にお渡し致しますので、必ず内容をご確認下さい。投資信託説明書(交付目論見書)は各販売会社までご請求下さい。

このレポートの最終ページにある「重大な注意事項」を必ずご覧下さい。



三井住友・USボンドオ - プン(為替ヘッジ型) 愛称:たのしみ

追加型株式投資信託 / バランス型

販売会社一覧

販売会社名	登録番号	日本証券業協会	(社)投資信託協会	(社)日本証券投資顧問業協会	(社)金融先物取引業協会	備考
証券会社						
S M B Cフレンド証券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長(金商)第40号				
岡三証券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長(金商)第53号				
金山証券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長(金商)第60号				
上光証券株式会社	金融商品取引業者	北海道財務局長(金商)第1号				
東洋証券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長(金商)第121号				
三菱UFJ証券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長(金商)第179号				
武蔵証券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長(金商)第183号				
山形証券株式会社	金融商品取引業者	東北財務局長(金商)第3号				
銀行						
スタンダードチャーター銀行	登録金融機関	関東財務局長(登金)第604号				
株式会社 北海道銀行	登録金融機関	北海道財務局長(登金)第1号				
保険会社						
住友生命保険相互会社	登録金融機関	近畿財務局長(登金)第34号				

重大な注意事項

このレポートは、金融商品取引法等法令に則り三井住友アセットマネジメントが作成した販売用資料です。このレポートの内容につきましては当社が信頼性が高いと判断した情報等により作成したものです。その正確性・完全性を保証するものではありません。尚、投資信託説明書(交付目論見書)と異なる内容が存在した場合は、最新の投資信託説明書(交付目論見書)が優先致します。このレポートの内容は作成基準日のものであり、将来予告なく変更されることがあります。また、運用実績等に関するグラフ・数値等は過去の実績を示すものであり将来の運用成果をお約束するものではありません。コメントは、作成時点での投資判断を示したものであり、将来の市場環境の変動等を保証するものではありません。このレポートに基づいてとられた投資行動等の結果につきまして、当社は関知致しませんので、ご自身でご判断頂きますようお願い致します。当ファンドの取得のお申込みの取扱にあたっては、最新の投資信託説明書(交付目論見書)をあらかじめあるいは同時にお渡し致しますので、必ず内容をご確認下さい。投資信託説明書(交付目論見書)は各販売会社までご請求下さい。投資信託は預金ではありません。投資信託は株式等値動きのある証券(外国証券には為替リスクもあります)に投資しますのでリスクを含む商品であり、運用実績は変動致します。従って、元本や利回りが保証されているものではありません。投資信託は預貯金や保険契約と異なり、預金保険・貯金保険・保険契約者保護機構の保護の対象ではありません。投資信託を証券会社以外でご購入いただいた場合、投資者保護基金の対象とはなりません。投資した資産の価値の減少を含むリスク(価格変動リスク・為替変動リスク・信用リスク等)について、投資信託をご購入のお客様(受益者様)が負うこととなりますので、ご自身でご判断、ご確認頂きますようお願い致します。この資料に記載しているインデックス等の知的所有権その他の一切の権利は、その発行者許諾者に帰属します。この資料に分配金の実績が示される場合、それらは当ファンドの過去の実績であり、将来の分配の実行をお約束するものではありません。運用状況によっては、分配金額が変わる、又は分配金が支払われない場合もあります。

